計画の名称															
計画の期間 計画の目標	平成22年	<b>度 ~ 平成</b>	26年度 (5:	年間)			交付対象	軽米町							
下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。															
計画の成果目標(定	計画の成果目標(定量的指標)														
下水道処理人口普及率を21.5% (H22) から25% (H26) に増加させる。															
定量的指標の定義及		定量的指標の現況値及び目標値 備考													
										当初現況値 中間目標値 最終目標値 (H22当初) (H24末) (H26末)					
下水道処理人口普及率										, , , ,					
下水道を利用できる人口(人) / 総人口(人)										24.0%	25.0%				
														段:実施	
全体事業費	1	合計	240百万円		А	237百万円 B	0百万円	C 3百万円	効果促進事業費の割合		1. 3%				
土件ず未貝	B+C)	239百万円			236百万円	0百万円	3百万円	C/ (A+	B+C)	1. 3%					
事後評価															
○事後評価の実施体制、実施時期															
事後評価の実施体制	)\n <u>\n</u> \n\n\n\n\n\n							事後評価の実施時期							
平 及目 IIIIマ 大地 の 列															
意見聴取会を開催し事後評価を実施 公表の方法									1 1/1/100   1/1/1						
									軽米甲	」 町ホームページに <sup>-</sup>	て公表				
1. 交付対象事業の進捗	狀況														
<b>交付対象事業</b> A 下水道												上段:計	上面 下	弘 · 宇施	
番号 事業 地域	交付	直接		施設	省略	要素となる事業名 (事業箇所)		事業内容		事業実	至施期間 (年度)	工权,日	全体事業費	備考	
種別 種別	対象	間接	事業者	種別	工種			(延長・面積等)	市町村名	H22 H23	H24 H25	H26	(百万円)		
軽米処理区															
25-A-1 下水道 過疎	軽米町	直接	_	分流	新設	管渠布設		L=2. 7 k m	軽米町				205		
, , , , ,				7				L=2. 6 k m	1,				205		
25-A-2 下水道 過疎	軽米町	直接	_	分流	新設	設計		管渠L=4.2km 管渠L=4.1km	軽米町				32 31		
								官集L=4.1K m					237		
습計 237 1 236 1 236 1 236 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2															
B 関連社会資本整備事	業														
番号 事業 地域		直接	事業者	施設	省略	要素となる事業名		事業内容	市町村名		底施期間 (年度)	1100	全体事業費 (百万円)	備考	
種別 種別 種別	対象	間接		種別	工種	+		(延長・面積等)		H22 H23	H24 H25	H26	(0,010)		
수라															
番号	番号														
	番号     備考														
C 効果促進事業											W. British Commission	上段: 計			
## ## ## ## ### ### #################		直接間接	事業者	施設 種別	省略 工種	要素となる事業名		事業内容	市町村名	事業集 H22 H23	E施期間 (年度)   H24   H25	H26	全体事業費 (百万円)	備考	
		, , , , ,		,		// Art > = -4. = Π.		L=0.1 k m	dett vie man	1144 П43	1124 HZ5	П20	3		
25-C-1 下水道 過疎	水道 過疎 軽米町 直接 一 汚水末端 新設 管渠布設		Ž.	L = 0.1  k m L = 0.1  k m	—軽米町			-	3						
	•	•	•	•					•	<del>'</del>		合計	3		
												ЦНІ	3		
番号 一体的に実施す											<u> </u>			備考	
25-C-1 基幹事業である	幹線(25-A-1	)と接続した枝	<b>と線整備を</b> 一位	は的に行な	うことによ	り、普及率の向上に寄与する	lo.								

## 2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況 I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況 ・管渠の埋設工事を行って面整備を図ったことで着実に水洗化が進み、また、公共用水域の保全と生活環境が向上した。 25.0% 最終目標値 目標値と実績値 に差が出た要因 Ⅱ定量的指標の達成状況 2500人 / 9982 下水道処理人口普及率 25.4% 最終実績値 2510人 / 9869 Ⅲ定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 ・末端管渠整備について基幹事業の管渠工事と同時に行うことで、周辺住民の私生活への影響を軽減できた。 (必要に応じて記述) 3. 特記事項(今後の方針等)

・引続き下水道事業を進め、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造します。

## (参考様式3) (参考図面)社会資本総合整備

